

この号の内容

1. 2023年10月生の予備教育課程修了式を開催しました
2. 2023年度卒業セレモニーを開催しました
3. 2024年度京都大学入学式に出席しました
4. Kyoto iUP生の全体交流会を開催しました
5. 2024年10月生選抜審査を終了しました
6. 2024年10月生の予備教育課程開講式を開催しました
7. Kyoto iUP紹介動画「Kyoto iUP: Move Forward Together」を公開しました
8. Kyoto iUP生がインターシップに参加しました
9. 2025年10月生選抜審査を開始します
10. Kyoto iUP卒業生の声

1. 2023年10月生の予備教育課程修了式を開催しました

2024年3月29日に予備教育課程修了式を開催し、17名の予備教育履修生が出席しました。國府寛司理事・副学長（教育・学生・入試担当）の祝辞、宮川恒国際高等教育院長（当時）の挨拶と修了証授与後、予備教育履修生を代表して6名が日本語レベル別にスピーチを行いました。どの学生も、教職員への感謝の言葉を述べるとともに、様々な国から来た友人と互いに助け合いながら成長することができたと話しており、来日前より精神的に強くなったと語っていた学生もいました。

続いて、既に学部課程に進学している先輩 Kyoto iUP 生が作成したビデオメッセージが紹介されました。最後に、長谷部伸治 Kyoto iUP プログラムマネージャー（当時）より、「学部課程の専門的な内容を日本語で学ぶには大変な努力が必要ですが、皆さんなら成し遂げられると信じています」という激励のメッセージが贈られました。



修了証授与と日本語でのスピーチ



2023年10月生集合写真

2. 2023 年度卒業セレモニーを開催しました

3月28日に、Kyoto iUP 生の卒業を祝うセレモニーを開催しました。卒業生は2019年10月に Kyoto iUP 予備教育履修生として入学し、この度4年間の学部課程を無事に修了し、晴れて学士の学位を取得しました。

國府理事・副学長（教育・学生・入試担当）による挨拶、宮川国際高等教育院長（当時）による祝辞の後、卒業生が日本語でスピーチを行いました。卒業生たちは、Kyoto iUP の教職員や仲間のサポートのおかげでパンデミックを始めとする様々な困難を乗り越えることができ、素晴らしい大学生活を送ることができたことと感謝の気持ちを伝え、日本語を習得できたことを始め、人として成長できたことに対する喜びを表しました。また、日本の企業への就職や大学院への進学など、将来の抱負を語りました。

その後、後輩を代表して2名の Kyoto iUP 生が送辞を述べ、先輩たちのグローバルな活躍に期待が寄せられました。最後に長谷部 Kyoto iUP プログラムマネージャー（当時）による祝福の言葉でセレモニーが締め括られました。卒業生の未来が明るく実りあるものになるよう、これからも応援しています！

※ Kyoto iUP 卒業生の声（裏表紙）も是非ご覧ください！



2023 年度卒業生との集合写真

3. 2024 年度京都大学入学式に出席しました

4月5日に2024年度京都大学入学式が開催されました。3月に予備教育課程を修了し、学部入学のための試験に合格した Kyoto iUP 生17名も新1回生として入学式に参加しました。

厳粛な雰囲気の中、皆少し緊張した様子でしたが、式後は緊張がほぐれ、会場の外で美しい桜を背景に、学生同士で写真を撮り合うなど、思い出に残る一日となりました。これから新しい環境に飛び込み、伸び伸びと成長していく姿を楽しみにしています。



湊長博総長（左）のことばに
真剣に耳を傾ける Kyoto iUP 生（右）



入学式会場での集合写真



入学式後には笑顔も見られた

4. Kyoto iUP 生の全体交流会を開催しました

6月24日に、学部にも所属する Kyoto iUP 生と吉田カレッジオフィス教職員との交流会を実施し、卒業生を含む総勢 75 名の Kyoto iUP 生と 18 名の教職員が参加しました。冒頭の大嶋正裕国際高等教育院長による開会挨拶に続き、堤誉志雄 Kyoto iUP プログラムマネージャーより Kyoto iUP 生への期待や学期末試験に関する心構えについて話がありました。

その後の座談会では、くじ引きによるグループ分けを行い、学生と教員、同級生同士、先輩後輩で近況報告をしたり、アドバイスをし合ったりしながら親睦を深め、楽しい時間を過ごしました。Kyoto iUP 生はお互いに切磋琢磨しながら日々努力を続け、また、様々な経験を通して充実した生活を送っています！



親睦を深める Kyoto iUP 生と教職員



Kyoto iUP ファミリー大集合！

5. 2024年10月生選抜審査を終了しました

2024年10月に予備教育課程へ入学する Kyoto iUP 生の選抜審査を 2023年12月から 2024年3月にかけて実施し、4月5日に合格通知を発出しました。

今回の選抜審査では、55か国・地域から過去最多となる 576 名の出願があり、78 名が第2次選抜（面接審査）に進みました。選抜審査の結果、31 名に合格を通知しました。今回新たにニュージーランドから合格者を獲得することができ、これまでに受け入れた Kyoto iUP 生の出身国・地域は 20 か国・地域となりました。今後も世界中から優秀な学生を獲得できるよう、広報・リクルート活動に努めてまいります。

- 出願者数 : 576 名 (55 か国・地域)
- 面接対象者数 : 78 名 (20 か国・地域)
- 合格者数 : 31 名 (10 か国・地域)
- 合格者の出身国・地域 :
インドネシア、カナダ、韓国、台湾、中国、ニュージーランド、フィリピン、ベトナム、マレーシア、モンゴル

6. 2024年10月生の予備教育課程開講式を開催しました

2024年10月生の予備教育課程開講式を9月30日に開催し、9か国・地域出身の25名の学生が出席しました。初めに、國府理事・副学長（教育・学生・入試担当）が開会の挨拶を行い、京都大学の基本理念である「自学自習」について触れつつ、「何事にも熱意を持って取り組んでほしい」というメッセージを伝えました。続いて、大嶋国際高等教育院長より、「日本語を学ぶことは難しいかもしれないが、学生の才能を信じている」という激励の言葉が贈られました。

次に、これからの6か月間、予備教育課程を担当する吉田カレッジオフィスの各教員が自己紹介をしました。堤 Kyoto iUP プログラムマネージャーの挨拶から始まり、各教員の個性豊かな自己紹介に、学生たちは笑顔を浮かべていました。

続いて、予備教育履修生が一人ずつ自己紹介を行い、大学生活への抱負を、時には日本語を織り交ぜながら発表しました。10月から予備教育課程が始まり、学生たちにとっては新しいことの連続ですが、仲間と助け合いながら困難を乗り越え、逞しく成長していくことを祈っています！



自己紹介と大学生活への抱負を述べる 2024年10月生



2024年10月生集合写真

7. Kyoto iUP 紹介動画「Kyoto iUP: Move Forward Together」を公開しました

3月末に Kyoto iUP の新しい紹介動画「Kyoto iUP : Move Forward Together」を Kyoto iUP の公式 YouTube で公開しました。この動画は、Kyoto iUP 生3名と卒業生1名のインタビューを中心に、Kyoto iUP の授業や課外活動の様子、キャンパスや学生生活の様子をふんだんに取り入れ、Kyoto iUP のみならず京都大学の魅力が伝わる内容となっておりますので、お時間のあるときにぜひご覧ください。

なお、Kyoto iUP では公式 YouTube のほか、Instagram でも情報発信をしておりますので、ぜひフォローしていただければ幸いです。



Kyoto iUP 紹介動画「Kyoto iUP: Move Forward Together」イメージ画像

こちらの QR コード
からも動画をご覧
いただけます！



8. Kyoto iUP 生がインターンシップに参加しました

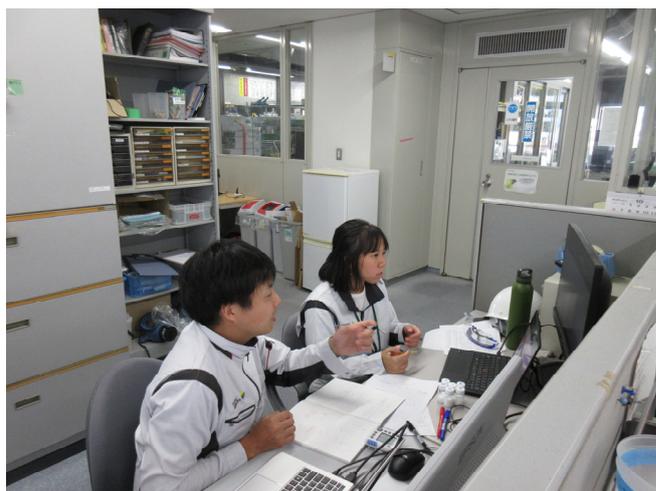
夏休み期間を利用し、8月から9月にかけて Kyoto iUP 生がインターンシップに参加しました。2024 年度は株式会社日本触媒様のご協力を得て、Kyoto iUP 生向けのインターンシップを実施いただきました。また、京都大学物質－細胞統合システム拠点（iCeMS）で研究インターンシップを実施しました。Kyoto iUP 生に貴重な機会を与えてくださった皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

●株式会社日本触媒様

9月2日から6日までの5日間、コーポレート研究本部研究センターで Kyoto iUP 生1名を受け入れていただきました。Kyoto iUP 生は大学で学んだ知識も活用しながら、受入れ先の研究グループでテーマに沿った実験に取り組みました。実験中は指導研究員の方々の「化学」に対する情熱に感化されたほか、大学の実験室で扱っている化学物質が日常生活で手に取る製品になるまでの「材料から製品まで」という流れを明確にイメージできるようになり、自身がいま大学で学んでいる専門の知識やスキルが社会で役立つ様子を実感したようです。休憩時間中も、アカデミアと民間の違いや社会人生活の様子を親身に教えてくださり、Kyoto iUP 生にとって、将来の進路選択のための大変充実したインターンシップとなりました。



指導研究員の方々（両端）と Kyoto iUP 生（中央）



実験指導の様子

●京都大学物質－細胞統合システム拠点（iCeMS）

本学の研究室で実際に行われている研究を体験できる機会として、iCeMSと連携し、Kyoto iUP 生向けの研究インターンシップを実施しており、今年で2年目になります。今年度は8月19日から9月13日までの約1か月間、Kyoto iUP 生1名が研究体験に参加しました。授業で学んだ知識を深めるとともに、実験ノートの取り方や PowerPoint を使用した研究成果の口頭発表のスキルを身につけ、研究者が身につけておくべき「常に疑問を投げかける姿勢」、「思考の柔軟性」、「独自のアプローチ」等を学びました。10月11日に行われた研究成果発表会では、上杉志成拠点長を含む iCeMS 研究者12名の前で発表を行い、有意義なフィードバックを受けることができました。



研究成果を発表する Kyoto iUP 生



大勢の iCeMS 研究者の前で発表する様子

インターンシップで得られた数々の経験は、Kyoto iUP 生の今後の研究活動や将来のキャリアにおいて貴重な財産になることと思います。Kyoto iUP 生が、インターンシップでの経験を活かして大学での学びをさらに深め、将来の日本社会を支える人材へと成長してくれることを期待しています。

9. 2025 年 10 月生選抜審査を開始します

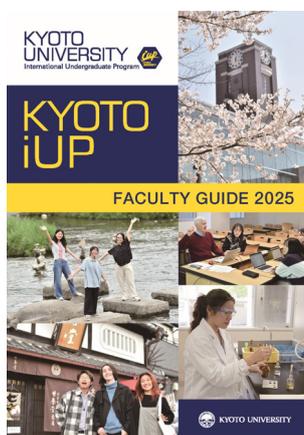
2025 年 10 月に予備教育履修生として受け入れる Kyoto iUP 生の出願受付を 11 月 1 日から開始しました。選抜審査スケジュールは以下のとおりです。

今年度は受入人数を 30 名に増やしました。今年度も世界中から優秀な学生が出願してくれることを期待しています。

- 出願期間 2024 年 11 月 1 日～2024 年 12 月 2 日
- 面接審査 2025 年 2 月 27 日～2025 年 3 月 14 日
- 合格発表 2025 年 4 月 4 日

Kyoto iUP では、出願を検討している海外の学生向けの資料も発行しています！

- Kyoto iUP Brochure (右)
- Kyoto iUP Faculty Guide (左)



10. Kyoto iUP 卒業生の声

- **Chou, Yu-Chen** 2024年3月・法学部卒業（台湾）

Kyoto iUP に入学する決断をするまで、私は一度も日本を訪れたことがありませんでした。全く馴染みのない風景に囲まれる中、また、日本語が教科書とは違って聞こえる中、初めての環境にとまどいました。また、コロナ禍の影響で、心身共に苦しい日々も過ごしましたが、本当にたくさんの方々に支えられ、法学部の勉強とサークル活動（模擬国連）を両立し、模擬国連では成果もあげ、無事に4年間を終えることが出来ました。Kyoto iUP はこれからも私たちの心の支えであり続けることでしょう。



- **Kaung Khant Naing** 2024年3月・工学部工業化学科（現・理工化学科）卒業（ミャンマー）



うまくやれるかどうかの心配とワクワクの希望で始まった私の大学生活はようやく無事に終わることになりますが、京都大学から離れることを思う度に、胸が痛くなります。しかし、今後は、日本の化学のものづくり業界で勤めながら、社会貢献に励もうと思います。これから私は社会に出て、Kyoto iUP の卒業生として働き、将来は、日本だけでなく、国際的な社会貢献を目指して、頑張っていきたいと思います。

Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 京都大学国際・共通教育推進部留学生支援課吉田カレッジオフィス事務室

Email: yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

（*を@に変えてください）



Kyoto iUP_Kyoto University



@kyotoiup



<https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>